

- 1、開会挨拶 函館R.C.会長 太宰 六郎
 1、報告 鷲尾分区代理
 1、ビジター紹介 鷲尾分区代理
 ゲスト ミス・リーン・マーチ オーストラリア交換学生
 森 正雄 函館大学事務長
 鈴木 和宏 司法修習生
 大森 秀夫 函館大学ローターアクトC
 新井田民司 函館大学ローターアクトC
 小笠原亮子 函館大学ローターアクトC
 ビジター 森R.C.風間 正一(水産加工)・上沢 孝(喫茶)・小嶋 久治(和菓子)・倉地 孝男
 長万部R.C.赤塚 繁夫
 松 前R.C.富江 徳蔵(シニアアクチブ)
- 1、乾 杯 パストガバナー 富田 恭
 1、スライド上映 交換学生ミス・リーン、石塚弥一郎
 1、講師紹介 五稜郭R.C.会長 西村 雅吉
 1、講演「人間関係」函館昭和女子学園高等学校々長 四倉 太郎
 1、謝 辞 北R.C.会長 青柳 喜一
 1、出席報告並びに閉会挨拶 亀田R.C.会長 成田 鉄蔵
 1、ロータリーソング「手に手つないで」
 1、点 鐘 函館R.C. 太宰 六郎

◎出席報告 (2月12日)

会 員 数	54 名	出 席 率	函 館 北 (2 / 12)	98.15%
出 席	39 名		亀 田 (2 / 3)	90.91%
欠 席	15 名		函 館 東 (2 / 4)	98.02%
他クラブ出席	14 名		函 館 (2 / 6)	92.25%
出席合計	53 名		函館五稜郭 (2 / 7)	100%
出席除外者	0 名			

◎第536回例会欠席者 (2月19日)

広瀬・本間(利)・駒井・宮崎・森(正)・西巻・小笠原・新・川村(邦)・山内(文)・成田
 (以上11名 敬称略)

次回例会日 3月5日

プログラム 『未 定』



第351地区
 函館北ロータリークラブ会報
 The Weekly Report of Hakodate North R.C.

第538回例会

1974~1975 第34号 1975. 3. 5

「Renew the Spirit of Rotary」
 「ロータリーの精神を振るい起こせ。」
 (William R. Robbins R.I. 会長指針)



角谷隆一 会員

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル
 事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

本日のプログラム

「時計のこぼればなし」 俣野 会員

第537回例会記録

- ◎司 会 青柳 喜一 会長 ◎齊 唱 我等の生業
 ◎ゲ ス ト 浦 巖氏 函館市交通安全協会事務局長
 渡辺 信一氏 原田セツ子さん 大島 勝彦氏
 ◎ビジター 札幌R.C. 田面 剛君
 函 館R.C. 渡辺 康常君 他11名

函館東R.C. 西村 敏雄君 他 1名
五稜郭R.C. 木村 和己君 他 3名

◎会長報告

ロータリークラブが70年前の2月23日に発足しましたが、その記念として在函5クラブの合同夜間例会が行なわれ、記念講演を挿入したりして、意義の深い日でありました。

本日は当クラブが11年前に発足しました時の初代会長＝新 善治君に、本日の司会をお願いして、少しでも記念行事の気持を分かち合いたいと思います。

過ぐる22日に函館市民体育館が完成し、その被露会が催され出席しました。実に立派な建物で、各施設も充実しております。今年秋に予定されております地区大会の会場に決っておりますが、良い環境の元で行なわれる大会の成果が、より盛り上がる事と思います。

◎幹事報告 関本 宏氏

例会場変更のお知らせ

2月28日函館五稜郭R.C.は移動例会として下記の通り変更されます。

場 所 日産サニョールーム (国道5号線と産業道路の交差点角)

場 所 午後12時30分より

昨25日在函クラブ幹事会が催されましたが、来る5月17日亀田R.C.がホストとして開かれるゼネラル・フォーラムには当クラブより60%以上の出席を亀田R.C.の幹事さんより強く要望が有りました。各位には予定を組まれ、出席して下さいの様お願い致します。

◎親睦活動委員事 野村会員

★ニコニコボックス報告

広瀬会員 山内会員 合同例会欠席のお詫び

広瀬会員 戸崎会員 インターアクト年次大会の記録報告書が無事完成しました

◎北海道奨学金奨学制度の候補について 函館R.C. 鷺尾分区代理

北海道ロータリー奨学金制度が有りますが、これは第350及び第351地区が高校及び大学生を対象として奨学金を支給する制度であります。第7分区に於て2名の枠があります。今から紹介致しますが、今日ゲストとしておまねきしました渡辺信一氏の御息、渡辺広司君は、函館東R.C.の推薦で中部高校卒、小樽商大の一年に在学中です。又、原田セツ子さんの御息、原田正平君はラ・サール高校卒、北海道大学医学部に進学されており、函館R.C.からの推薦であります。この制度では卒業迄月額5,000円が支給されます。過日地区ガバナーから審査を一任され、本日両人の御両親とお逢いし、決定したのであります。

◎渡辺 信一氏の挨拶

今般は皆様方の御配慮により、息子が奨学金の受給を受ける事になりました。御高情心から有難く厚くお礼申述べます。

◎映画 雪道の安全運転

降雪の多い北海道に於る安全運転の方法・注意等があり、ブレーキの踏み方もいろいろ有り、スリップ時はハンドル操作等が映写され、雪による事故の恐ろしさを身に感じ会員諸君も安全運転を心の中で自分に言い聞かせた様子だった。

◎例会終了点鐘 新会員

当クラブの最年長の私が本日の終了点鐘させて載きます。皆様の暖い拍手をお願い致します。

◎新入会員紹介

田中 幸一 君

- | | |
|----------|----------------------------------|
| ①職業分類 | 配管 |
| ②勤務先及び職名 | 日設工業株式会社 代表取締役 |
| ③勤務先住所 | 函館市田家町6の12 |
| ④自宅住所 | 函館市大川町7の6 |
| ⑤生年月日 | 昭和9年5月6日 |
| ⑥最終学歴 | 函館東高校 昭和28年卒業 |
| ⑦ご夫人 | 田中 知世子 昭和8年8月7日生 |
| ⑧ご家族 | 長男 幸哉 12才 亀田小学校6年生
義母 さくえ 61才 |
| ⑨ご結婚 | 昭和35年10月20日 |
| ⑩趣味 | ゴルフ・射撃 |

★他人への思いやり 東京江東 酒井 義二

ロータリーでは日常語のように他人への思いやりという言葉がつかわれ、宗教的な意味さえも誠立派な行為であると思う。私はこの6年間その言葉についていろいろな面で考えてきた。

第一現在のようなマンモスロータリーにそんな言葉と内容の一致することが可能であるかという事にまず疑問がある。拡大の陰には常に大きな無理がある。他人の為に思いやりを持って自分を犠牲に出来る人間はまず余り多くない。それを或る程度集めるのであるから完全な形になる訳がない。思いやりの精神とは多少都合が悪くとも他人の企画に参加し、よりよき成果を上げさせてやることであり、また自分の企画が総ての人に満足感を持って参加して貰えるかと言うことまで考えてやる必要がある。昔の諺に、我が身をつねって人の痛さを知れ、である。

簡単に言えばクラブで決定したことについては、会員がごぞつて参加する気持、また実行である。同時にそれは皆が極端な無理な負担をせずに自然の姿で参加できる計画でなければいけない。私は現在のロータリアンが決してロータリー精神を振り起していないとは思わない。他国は知りません。現に会員数は年々相当な勢でふえ、クラブ数も多くなっています。R財団の寄附率も低くありません。これ以上拍車をかけますと返って無理が起り、いがんだ形のものとなると思います。担しこれらの現象の陰には止むを得ない理由もあると思います。ロータリーの役員一年交代は或る意味では大変良い、但しその裏面として表われる悪い現象も起ってくる。新らしく役についたら何か変わったことをしないとガバナーの意志に添えない。自分の在任中に何か目論む。私自体もそうであった。一年間の幹事生活を終って振返って見た時、自分の行動の孔だらけであったことを知った。最近良く考えるが新しいターゲットを見る度に、それは誠に立派でそれに向って邁進することは大切だと思うが、その為に自分の在任中の業績をあせり過ぎて、会員全体の気持を無視した行事に走り過ぎているような感じがする。

ロータリーの多くの知識を持っている人々は現在のマンモス・ロータリアンが巾の広い層にある実情とも考え合わせ、もっと他人への思いやりを忘れることなく、自分に与



函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

第539回例会

1974~1975 第35号 1975. 3. 12

“Renew the Spirit of Rotary”
 “ロータリーの精神を振るい起こせ”
 (William R. Robbins R.I. 会長指針)



角谷隆一 会員

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル
 事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

本日のプログラム

『マニラの経済視察を終えて』 野村会員

第538回例会記録

- ◎司 会 青柳 喜一 会長
- ◎ゲ ス ト 函館大学RAC 新井田民司君・小笠原亮子さん
- ◎ビ ジ タ ー 釧 路R.C. 両角 靖二君
 函 館R.C. 豊山 巖男君 他3名
 函館東R.C. 島田 栄一君 他2名
- ◎齊 唱 君が代・奉仕の理想

えられた職務を上手に遂行して行って貰いたい。また、ロータリアン各位も一度決定された方針については、企画者の意に深い思いやりの精神を以って大いに参加協賛して、より良き成果と意義ならしめるようにしたいものである。

総てのことが真心より他人への思いやりの精神から出発するものであるならば、私はロータリーはもっと美しく素晴らしいものになると思う。しかし、神の域にない凡人である以上、残念乍ら今はまだ理想には程遠いように見受られる。何か替りばえのした行事をやらぬとロータリー精神が振起っていないような錯覚を持つが、お互に行動的な形でなく精神的のものを、もっと大切にすべきであると思います。

★旧暦と新暦 リバロン役員 釣竿製造 荒木 清行

旧暦は大の月が30日、小の月が29日、1年 354日で、3年1度ほど閏月を必要とする。新暦では3月から交互に大の月31日、小の月30日をつくり、最後の2月だけが29日で、1年を 365日とした。では、7、8と大の月がつづくのはなぜか。ローマ皇帝オーガストは、8月(オーガスト)が小の月とはもってのほかと、8月を大の月にしてしまった。すると1月は当然小に当たるが、これは年の始めだから大にし2月を1日へらして28日にしてしまった、という。地球が太陽を公転するのに 365日 5時間48分46秒かかるので、この余りを調整するため4年に1度閏年を作って2月を29日とする。西暦を4で割り切れる年を閏年とするが、そのままでは少し足りなくなるので下2桁が00上2桁が4の倍数でない年は平年としたのである。

◎出席報告 (2月19日)

会 員 数	54 名	出 席 率	函 館 北 (2/19)	100%
出 席	43 名		亀 田 (2/10)	90.91%
欠 席	11 名		函 館 東 (2/11)	休 会
他クラブ出席	11 名		函 館 (2/13)	85.94%
出席合計	54 名		函館五稜郭 (2/14)	100%
出席除外者	0 名			

★第537回例会欠席者 (2月26日)

平山・北条・松本・佐々木・成沢・小笠原・川村(昭)・下郡山・渥美・小松・深瀬
 (以上11名敬称略)

次回例会日

プログラム 『未 定』